

■院内感染対策に関する基本的な考え方

愛仁会リハビリテーション病院は、地域のみなさまに質の高いリハビリテーション医療を提供することを目標に、「再びその人らしい生活に」の理念を掲げています。感染対策委員会は、リハビリテーション医療を必要とする患者とその家族、病院内で働く職員を医療関連感染から防護する責務があります。

院内においては、感染症患者と免疫力が低下した患者が同時に存在していることを前提に、医療行為における患者・職員への感染症の伝播を最小化する視点に立ち、CDC ガイドラインに基づいた標準予防策を実践する。そのために、迅速で効果的な感染管理組織を整備し、感染症の発生状況、予防対策など感染に関する問題を明確にして解決します。

また、全職員は感染防止マニュアルを遵守し、標準予防策の実施と状況に応じた感染経路別予防策を実践します。

■活動内容

☆ICT 回診

ICT 回診は、毎週水曜日の 13 時から実施しています。感染対策の実施状況の確認や、感染症診療に関する助言・指導を行っています。対象患者は、耐性菌検出者・発熱者・免疫抑制剤使用患者等を把握して、回診を実施しています。また、ICT 回診は職員のコンサルテーションの場とし、臨床現場との信頼関係を構築することも目的として毎週 ICT メンバーで頑張っています。

☆AST 回診

ICT 開始終了後に毎週実施しています。抗菌薬を使用されている患者を対象に、抗菌薬治療の最適化のため、抗菌薬の種類や用法・用量 (PK/PD、TDM)、治療期間が適切かモニタリングし、ディエスカレーションなどを、主治医へのアドバイスをしています。また、抗菌薬の使用量や感受性率のサーベイランスを積極的に行い、抗菌薬による耐性菌化の抑止に努めています。

☆環境ラウンド

環境ラウンドは、毎週 1 回実施しています。各部署における療養環境の清潔管理について確認を行い、感染対策の課題を明確にしています。ラウンドの評価をフィードバックする時には、ただ○や×で表現するだけでなく、視覚に訴える工夫(見える化)をしています。継続してラウンドを実施することで、病院全体の感染対策が充実することを目指しています。



☆感染防止マニュアルの改訂

リハビリ病院の機能を重視した感染防止マニュアルを作成し、職員に活用していただけるマニュアルにするため、適宜内容を見直しています。

☆職業感染防止

職員の流行性ウイルス疾患抗体価を把握し、ワクチン接種を推奨しています。

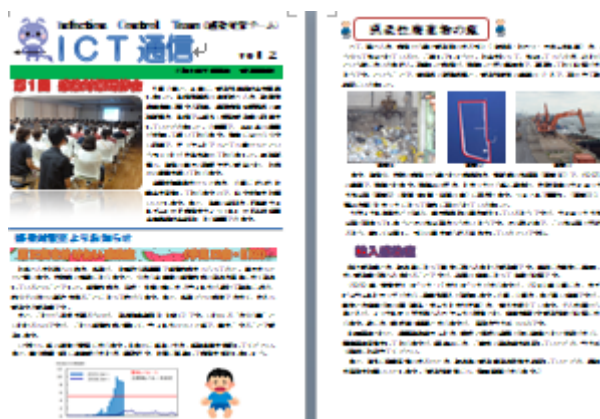


☆院内感染対策研修会の開催（年4回）

- ・2018年6月「抗菌薬の使い方」講師：薬剤科 吉田弥生
「手指衛生について」講師：感染対策室 富家敦子
- ・2019年2月「この時期に流行する感染症」講師：しんあい病院副院長 稲本真也
「抗インフルエンザ薬について」講師：薬剤科 吉田弥生
- ・2019年7月「尿路感染症」講師：高槻病院泌尿器科部長 右梅貴信
「ASTについて」講師：薬剤科 与那城知夏

☆啓蒙活動

職員に対して感染対策の知識と興味を持って頂くことを目的に、ICT通信を発刊しています。



☆地域連携感染対策ネットワーク

平成24年度より北摂地域における加算1施設と加算2施設と連携を組み、自施設や地域全体の感染対策の充実と向上に努めています。

感染防止対策地域連携では、外部からのラウンドを受け第三者から感染の視点で指摘や評価を受け、現状を客観的に把握でき自施設の感染対策を強化するために活かしています。